

Weekly report

MINKABU
THE INFONOID

株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド
東京都千代田区神田神保町3-29-1

今週の注目材料 = 欧州の景況感は前回に続き強めに

2020年7月20日

24日に欧州主要国及びユーロ圏の7月のPMI(購買担当者景気指数)が発表されます。新型コロナウイルスの関係で4月分が各国とも記録的な落ち込みとなったPMI。5月分では期待ほどの回復を見せず、欧州の厳しい状況が意識されました。しかし前回6月分では予想を超える好結果が示され、一転して楽観論が広がる展開に。こうした中、今回の数字にも注目が集まっています。

まず16時30分のドイツPMI。前回は製造業予想の42.5に対して、44.6(速報値)と予想を超える好結果。さらに改定値では45.2に上方修正されました。非製造業も45.8と予想の42.3を超える好結果に。また改定値では47.3まで上方修正されています。ともに景気の好悪判断の境となる50には届いていませんが、ドイツの場合、製造業PMIは新型コロナに関係なく、去年初めか50割れが続いており、新型コロナの影響前の水準に戻してきたという印象。非製造業は新型コロナの影響が出る前の2月までは50を超えていたもので、まだ影響が残っているという印象ですが、製造業に比べるとロックダウンの影響が出やすいこともあり、仕方がないという印象。新型コロナの影響がもっとも強く出た4月時点での数字は製造業が34.4(改定値は34.5)とリーマンショックの影響が残った2009年3月以来の水準となったのに対して、非製造業は過去最低水準を大きく割り込む15.9(改定値は16.2)という衝撃的な弱さとなっており、そこからよく戻してきたという印象です。

今回の予想は製造業PMIが48.0。非製造業PMIが50.2。非製造業は好悪判断の境を超えてくるとの見込みになっています。

続いて17時のユーロ圏PMIです。前回は製造業が予想の45.0を超える46.9(改定値は47.4)、非製造業が予想の41.5に対して47.3とドイツ同様大きな改善を示しました。こちらも4月分は製造業が33.6(改定値は33.4)、非製造業に至っては11.7(改定値は12.0)と厳しい数字に。

今回の予想は製造業PMIが49.8、非製造業が51.0。非製造業は好悪判断の境を超えてくるとの見込みに、製造業も少し上振れするようならば50を超えてきそうです。

欧州での新型コロナウイルスの感染拡大は一部を除いてかなり落ち着いてきており、今後の経済再開が期待されるようになっていきます。復興プログラムを巡って被害の厳しかった南欧と、負担を減らしたいオランダ、オーストリアなどとの対立といった懸念材料もありますが、PMIが強めに出ると、ユーロ高の動きを加速させる力は十分にありそうです。

17時半に発表されるのが、英国のPMIです。こちらは前回6月分時点で製造業が50.1と、好悪判断の境を超えてきました。非製造業は47.0(改定値では47.1)と50超えはなりませんでしたが、予想の40.0を大きく超え、5月分の29.0からの大幅上昇です。

ユーロ圏各国と比べて新型コロナウイルスの感染拡大が深刻な英国。感染者数は18日時点で約29.5万人と、世界第9位(一時は感染者数が世界トップレベルに多かった南欧でも、中南米を中心に感染者数が一気に拡大した現状ではベスト10に入っていない)

で、英国の深刻さが印象的です。感染による死亡者数は英国で4.5万人を超えており、世界第3位。英国医療アカデミーの専門家は英国で第2波が発生した場合、来年6月までに12万人を超える死亡者もと警告しています。

そうした中、今月4日には英国の象徴でもあるパブを含めた飲食店、映画館、美美容店などが再開され、ロックダウンが大きく緩和されました。

ロックダウン緩和もあって、予想は製造業が52.0、非製造業が51.0とともに50を超える好結果が見込まれています。ただ、ユーロ圏以上に新型コロナウイルスの感染拡大に神経質になっている可能性があり、予想ほど強めの数字が出ないというケースは十分にあり得ます。EUとの通商交渉の難航もあり、売りが入りやすいという地合いも考えると、PMIの数字次第では大きなポンド売りの動きもありそうです。

山岡和雅 | minkabu PRESS編集部

1992年チエースマンハッタン銀行入行。1994年ロイヤルバンクオブスコットランド銀行（旧ナショナルウェストミンスター銀行）移籍。10年以上インターバンクディーラーとして活躍した後にGCIグループに参画。2016年3月よりみんかぶ（現ミンカブ・ジ・インフォノイド）グループに入り、現在、minkabu PRESS編集部外国為替情報担当編集長。（社）日本証券アナリスト協会検定会員 主な著書に「初めての人のFX 基礎知識&儲けのルール」すばる舎、「夜17分で、毎日1万円儲けるFX」明日香出版社など

<免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については伴線を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

<著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。